

災害医療体制検討特別委員会

(令和3年度)

災害医療体制検討特別委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 災害医療体制検討特別委員会

委員長 楠 真二

本委員会では、実効性の高い災害医療体制の構築に向けて検討することを活動目的に掲げている。令和3年度は、主に「災害時医療救護活動マニュアル」の改訂に向けた記載内容の検討のほか、第7次保健医療計画「災害時における医療対策」の達成状況や広島県集団災害医療救護訓練の実施方針について共有・検討した。

I. 委員会の開催

第1回特別委員会 令和3年7月14日

第2回特別委員会 令和4年2月14日(書面開催)

第3回特別委員会 令和4年3月31日(書面開催)

※第2,3回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の状況から、書面開催として実施。

II. 調査研究の内容

【1】災害時医療救護活動マニュアルの改訂について

平成24年3月に策定した災害時医療救護活動マニュアルについて、平成30年7月豪雨等の広島県が経験した災害での課題や体制の変化に対応した改訂を令和3年度中に完了させることを目指し、第1回～第3回の特別委員会で、意見照会・協議を行った。

1. 第1回特別委員会

広島県からマニュアル改訂案(たたき台)が示され、策定状況、改訂方針について説明の後、意見交換を行った。

2. 第2回特別委員会

書面開催として、第1回特別委員会での意見を反映したマニュアル改訂素案についての意見照会を実施。

(改訂のポイント)

- ・保健医療調整本部、災害医療コーディネーターに関する記載の追加
- ・亜急性期以降の医療救護活動の追加とフェーズ(初動、急性期、亜急性期等)の明確化
- ・情報システム(EMIS, J-SPEED)を活用した効

率的な情報収集と共有に関する記載の追加

・ライフラインに係る記載の追加

委員と並行し、関係機関(約60機関)へも意見照会を実施し、最終的に、18人(機関)から62件の意見の提出があった。

3. 第3回特別委員会

広島県から、第2回特別委員会(書面開催)での意見をもとに修正を行ったマニュアル改訂最終案の提示があり、書面にて採択の決議を実施した。全会一致にて、マニュアル改訂案が承認された。

なお、広島県からは、今後の訓練等を通じて体制の見直しを行った場合は、適宜、マニュアルに反映させるとの補足説明があった。

【2】令和3年度災害医療体制確保事業について

災害拠点病院の医療従事者が、院内災害対策本部の運営等にも積極的に関わることができるよう災害対応力向上を目的とする「医療従事者災害対応研修」と災害拠点病院等をメイン会場に関係機関と連携した救護訓練を実施する「広島県集団災害医療救護訓練」を地域拠点病院連携強化推進事業として1つの事業に統合することが報告された。統合により、研修で培った知識を訓練で追加検証することとした。

また、標準カルテを使うことを目的に作成された「災害診療記録/J-SPEED」を、広島県がモデル都市としてオール広島で、運用形態の体制構築を図っていくため、研修の機会が増えるよう調整することが共有された。

【3】第7次保健医療計画「災害時における医療対策」の進捗状況について

令和2年度の実績および目標の達成状況について説明があった。

EMISの操作を含む訓練・研修を実施した二次保健医療圏の数については、圏域の中で地対協事務局、

市郡地区医師会のどこが主体となるかが明確でないことも実施に至っていないひとつの要因だと考えられる。

【4】 広島県集団災害医療救護訓練について

令和3年度の訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染状況により規模縮小等を検討し、緊急事態宣言下またはまん延防止等重点措置下では中止・延期とすることとした。

また令和4年度から令和6年度までの訓練実施については、訓練未実施の災害拠点病院を対象とした

意向調査結果を踏まえ、令和4年度は広島県庁を開催地とすることを含め、広島県から実施方針案が示され、書面審議により承認された。あわせて災害拠点病院に対し、協力依頼がされた。

【5】 広島県感染症協働支援チームの活動状況等について

医療福祉施設におけるクラスター発生時に、広島県のDMATを中心に感染症の専門家と協働して行う支援は、先進的な取り組みとして派遣実績が説明された。

指標等	目標値	現状値 (計画策定時)	令和2年度			
			目標値	実績	達成状況	今後の取組方針
ア DMATのチーム数	[H35] 36チーム	[H29] 29チーム	[R5] 36チーム	31チーム	努力を要する	引き続き施策を実施
イ DPATのチーム数	[H35] 10チーム	[H29] 3チーム	[R5] 10チーム	22チーム	全体的に順調	引き続き施策を実施
ウ 災害拠点病院における業務継続計画(BCP)の策定率	[H35] 100%	[H29] 11%	100%	100%	全体的に順調	目標達成済みのため、中間見直しで指標から削除
エ 業務継続計画(BCP)に基づき、被災した状況を想定した院内訓練・研修を実施した災害拠点病院の割合	[H35] 100%	[H29] 0%	100%	100%	全体的に順調	—
オ EMISの操作を含む訓練・研修の実施した二次保健医療圏の数	[H35] 7圏域	[H29] 2圏域	前年度比増	4圏域	比較的順調	引き続き施策を実施
カ 災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関との連携の確認を行う災害実動訓練を実施した災害拠点病院の割合	[H35] 100%	[H29] 78%	[R5] 100%	74%※	努力を要する	訓練未実施の災害拠点病院に対し、働きかけを強化

※災害拠点病院数の増加(広島共立病院の指定(平成31年3月27日))に伴う減少

広島県地域保健対策協議会 災害医療体制検討特別委員会

委員長	楠 真二	県立広島病院
委員	青野 拓郎	広島県薬剤師会
	天野 純子	広島県医師会
	有馬 準一	広島赤十字・原爆病院
	石井 哲朗	呉市医師会
	今井 茂郎	呉共済病院
	岩崎 泰昌	呉医療センター・中国がんセンター
	大本 崇	広島県医師会
	鎌田 耕治	庄原赤十字病院
	久保 達彦	広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学
	貞森 裕	福山市民病院
	佐藤 伸樹	広島県危機管理監危機管理課
	嶋谷 邦彦	広島西医療センター
	志馬 伸朗	広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学
	世良 昭彦	広島市立安佐市民病院
	竹本 貴明	広島県薬剤師会
	遠山 郁也	広島市健康福祉局保健部医療政策課
	内藤 博司	広島市立広島市民病院
	中川 五男	中国労災病院
	中田 徹	広島市消防局
	中布 龍一	JA尾道総合病院
	西野 繁樹	広島県医師会
	丹羽 浩之	広島市危機管理室危機管理課
	則行 敏生	尾道市医師会
	浜田 史洋	日本鋼管福山病院
	原田 宏海	市立三次中央病院
	平川 治男	広島県医師会
	平田 教至	福山市医師会
平林 晃	安芸地区医師会	
藤原恒太郎	興生総合病院	
前田 正人	三原赤十字病院	
増井 博文	広島県健康福祉局健康危機管理課	
宮本 典明	広島県危機管理監消防保安課	
村田 裕彦	広島共立病院	
森田 悟	東広島医療センター	
吉田 研一	JA広島総合病院	